

欄に記入してください

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ユニプレスモールド 株式会社 広島地区

(2) 事業所の所在地

東広島市高屋台1-11-40

(3) 業種

自動車部分品・付属品製造業

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成30（2018）年度を基準年度とし、令和4（2022）年度から令和6（2024）年度までの3年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成30年度 (2018)	令和6年度 (2024)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 ( )	令和 ( )	令和 ( )	
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	4,533	3,721 17.9	3,904 13.9	3,860 14.9		100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	4,533	3,721 17.9	3,904 13.9	3,860 14.9		100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価	断熱改善による熱損失の削減及び、電動フォークリフト導入等、諸活動効果が現れてきている。							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量削減	電気の使用量を0.3%削減	低負荷ラインの統合 (3ラインを統合し1ライン化)
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。